

# 東北地方 1か月予報

(1月22日から2月21日までの天候見通し)

平成17年1月21日  
仙台管区气象台発表

## < 予想される向こう1か月の天候 >

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置の日が多く、一時強まることでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か低い、2週目は平年並、3～4週目は平年並でしょう。

## < 向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



低い(少ない)    平年並    高い(多い)

## < 気温経過の各階級の確率 (%) >



低い    平年並    高い

## < 予報の対象期間 >

- 1か月 : 1月22日(土) ~ 2月21日(月)
- 1週目 : 1月22日(土) ~ 1月28日(金)
- 2週目 : 1月29日(土) ~ 2月4日(金)
- 3～4週目 : 2月5日(土) ~ 2月18日(金)

## < 次回発表予定等 >

- 1か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は1月28日
- 3か月予報 : 1月25日(火) 14時00分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温( )		
					1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
大船渡	0.5	54.1	156.4	31	0.1	0.2	0.7
新庄	-1.3	166.9	53.8		-1.7	-1.7	-1.1
若松	-0.8	75.0	98.8	132	-1.1	-1.1	-0.6
深浦	-0.7	84.6	44.5		-1.0	-1.1	-0.5
青森	-1.6	137.4	71.4	271	-2.0	-2.0	-1.4
むつ	-1.9	92.3	92.4		-2.1	-2.2	-1.8
八戸	-1.4	56.3	142.7	59	-1.7	-1.7	-1.2
秋田	-0.3	100.8	61.6	101	-0.6	-0.6	-0.1
盛岡	-2.1	53.9	138.4	62	-2.6	-2.6	-1.9
宮古	-0.1	75.3	169.3	44	-0.4	-0.5	0.0
酒田	1.1	131.4	55.2	78	0.9	0.8	1.3
山形	-0.6	74.4	101.6	111	-1.0	-1.0	-0.4
仙台	1.3	44.3	165.3	31	1.0	0.9	1.6
石巻	0.5	40.4	180.0		0.0	0.0	0.7
福島	1.4	47.9	155.9	41	1.0	1.0	1.6
白河	0.1	34.6	170.1		-0.3	-0.3	0.3
小名浜	3.4	56.1	195.8	0	3.1	3.0	3.5

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.7	78～108	95～105	79～107
東北日本海側	-0.3～+0.6	89～105	90～110	82～112
東北太平洋側	-0.3～+0.7	66～109	98～103	72～109

（３）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
東北地方	-0.7～+0.9	-0.6～+0.9	-0.5～+0.8
東北日本海側	-0.6～+0.9	-0.6～+0.8	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.7～+1.0	-0.6～+0.9	-0.5～+0.8

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられませんが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 17 年 1 月 21 日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (1 月 22 日 ~ 2 月 21 日):

冬型の気圧配置の日が多く、一時強まることあるでしょう。平年と同様に東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目 (1 月 22 日 ~ 1 月 28 日):

冬型の気圧配置の日が多いでしょう。東北日本海側では曇りや雪の日が続き、明日 (22 日) は大雪や荒れた天気となる見込みです。東北太平洋側では沿岸部ほど晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

2 週目 (1 月 29 日 ~ 2 月 4 日):

冬型の気圧配置の日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3 ~ 4 週目 (2 月 5 日 ~ 2 月 18 日):

冬型の気圧配置の日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

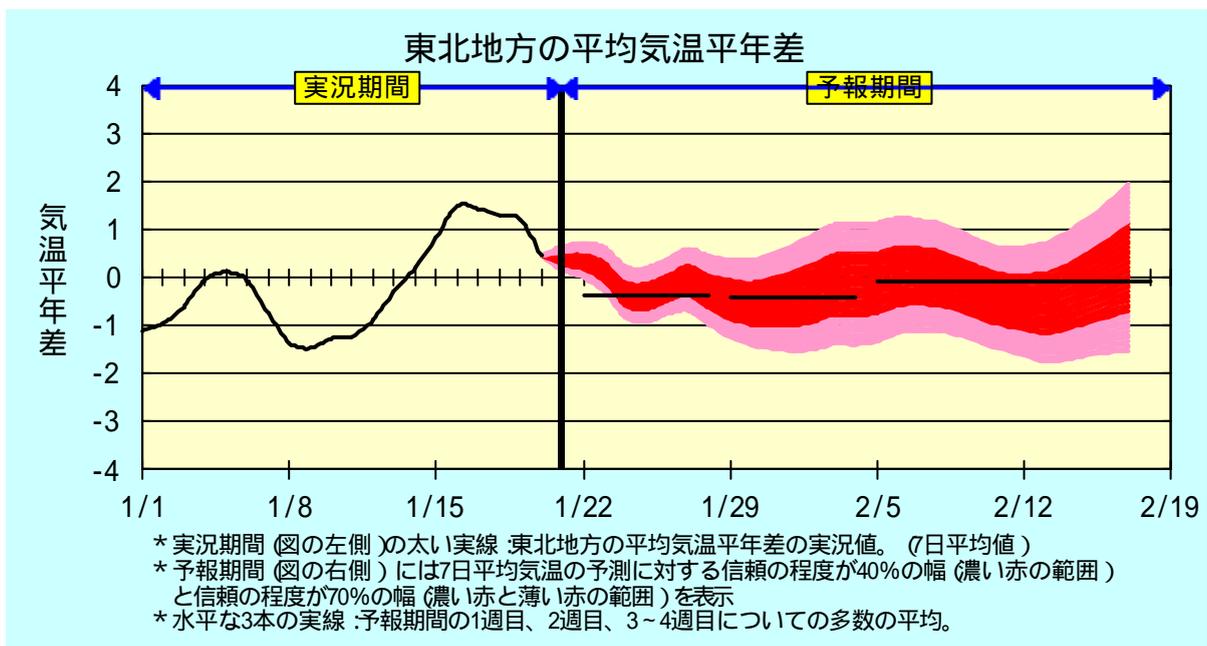
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
東北日本海側	5.6 日	1.3 日	1.2 日	3.1 日
東北太平洋側	18.2 日	4.6 日	4.6 日	9.0 日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3 ~ 4 週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から 1 週目を「平年並か低い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

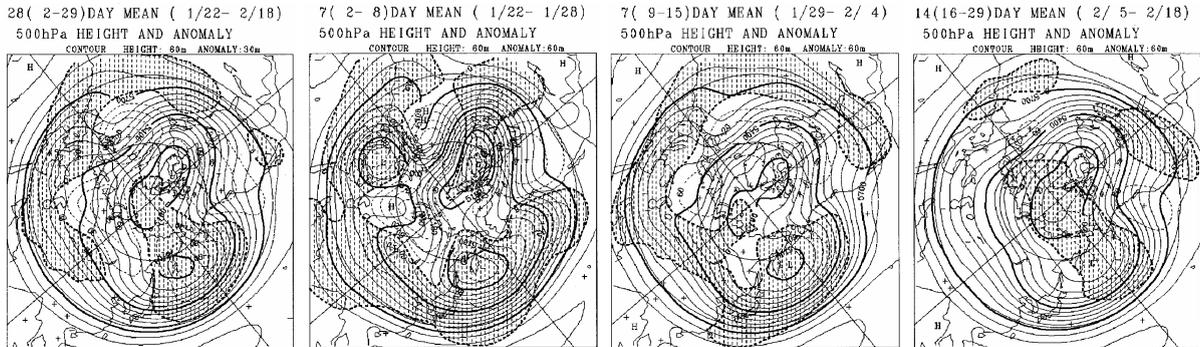


### 3. 数値予報 (アンサンブル平均天気図) による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差:

月平均では、極付近から日付変更線の北緯 30 度近くにかけて低圧部で負偏差。大陸から日本列島にかけては正偏差で、北日本は寒気が入りやすい。

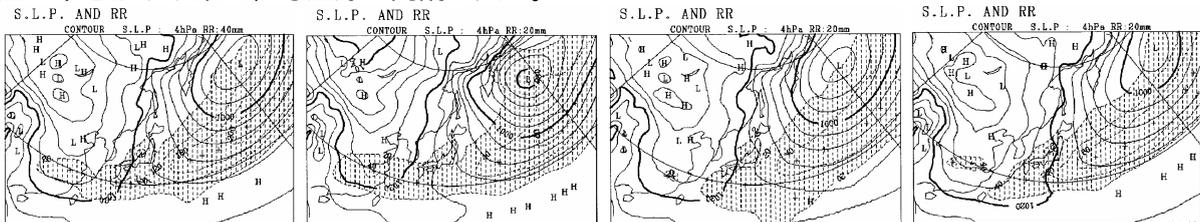
1 週目は、カムチャツカ半島付近の低圧部が明瞭で、日本付近は帯状の負偏差域に覆われて寒気の影響を受けやすい。2 週目は、カムチャツカ半島付近に低圧部があり、負偏差域が日本付近までかかる。3~4 週目は、極付近から日付変更線付近に負偏差域。大陸から日本付近にかけて広く正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量:

月平均では、日本付近は冬型の気圧配置。また、本州の南岸は低圧部となっており、まとまった降水域が予想される。

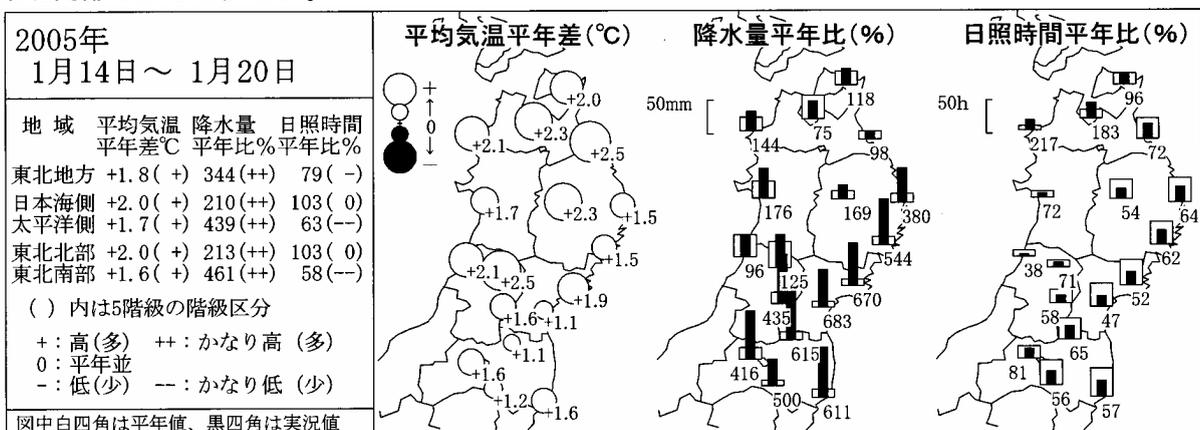
1 週目は、カムチャツカ半島付近に低気圧があり強い冬型の気圧配置。2 週目は、冬型の気圧配置で、1 週目より大陸の高気圧が日本付近に張り出す。3~4 週目は、冬型の気圧配置だが、低気圧の中心がやや東で、等圧線の間隔は広い。



### 4. 最近 1 週間 (1 月 14 日~1 月 20 日) の天候の経過

この期間、低気圧が周期的に通過したため冬型の気圧配置は長続きせず、気温は高く経過した。16~17日にかけては南岸低気圧が発達しながら三陸沖に進んだため東北太平洋側を中心に風が強まり、まとまった雨や雪となった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)